プロパン新聞（昭和31年4月16日第三種郵便物認可）　2011年（平成23年）11月7日
©産業報道出版株式会社2011

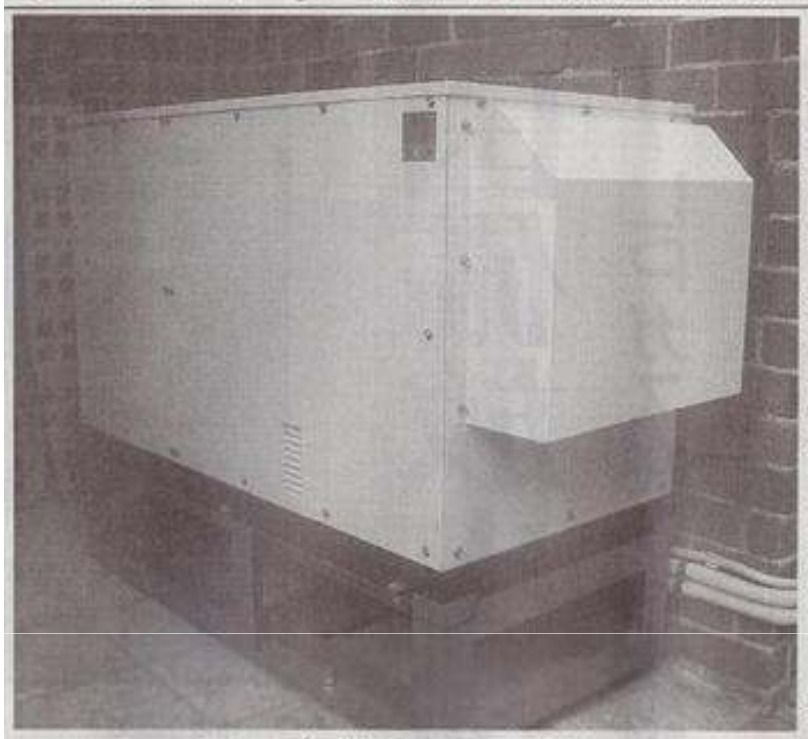
プロパン新聞

産業報道出版株式会社
本社　東京都中央区築地3－7－4　電話03（3541）4181　代表
関西支社　大阪市西区北堀江1－6－5　電話06（6531）3621　代表
東海支局　名古屋市千種区内山3－10－17　電話052（735）0484
中国支局　広島市中区上八丁堀8－23　電話082（223）5399
九州支局　福岡市博多区博多駅前2－16－4　電話092（471）7493
ホームページアドレス
http://www.lpg-sanpo.co.jp

LPガス発電機　レンタル開始

震災後の需要増に対応

昭栄



アーバンシップに常設したガス発電機。屋内にコントロールユニット、UPSを設置

昭栄（埼玉県行田市、川崎道貫社長）は、LPガス燃料の発電機と節電機能付き電力供給システム「ガス電くん」の需要増を受けて、このほどガス発電ユニットのレンタルを開始した。

LPガス燃料の発電機（8kW）、電力監視コントロールユニット、UPS（無停電電源装置）で構成し、平時は不要な待機電力を100％カットし、停電時・災害時には独立電力を供給する。LPガス発電で燃料の安定供給、維持管理や低騒音、CO_2削減など利点がある。50kg容器1本で約24時間稼働する。エンジンは富士重工製で行田市で組み立てている。

今年から販売を本格化したが、東日本大震災以降問い合わせが急増し、LPガス販売事業者からの引き合いも強い。実際に発電機システムを見学したいとの要望も増えており、東京都内でも販売代理店（南関東）のアーバンシップ（東京都板橋区、中澤竜馬社長）に「ガス電くん」システムを常設した。

発電機単体で価格は工事費別で200万円前後からだが、月額3万7000円からのレンタルを開始した。また昭栄では「ガス電くん」システムの販売代理店も募集している。

「自ら考えて行動」

社員行動基準を策定

冨士鉱油グループ

来年、創業50周年を迎える冨士鉱油グループ（東京・中央区、岡本章夫社長）は、さらなる組織力の強化を図るための新たな行動指針として「自律的に　能動的に」を基本テーマにした社員行動基準を発表した。

背景には、東日本大震災のような非常・緊急事態の際、指示・指揮系統の断絶によって組織機能が正常に機能しないことが起こり得るため、これまで以上に社員一人ひとりが判断力と行動力を高めていく必要があることから、自ら考え、状況に即した判断と能動的な行動によって個々の社員が自分自身の役割を果たしていく必要があるとの思いがある。

1自にグループ各社・

信用と技術をもって
ホ
液化石油ガ
低圧